

「秒進分歩」する半導体の 高度な技術力を取り入れた 鍛造用誘導加熱装置を開発

海外発注可 納期相談 企画力自信有 コスト相談 オンライン技術 メイドインジャパン 試作可小ロット 量産対応



移動式少量加熱用コンパクトタイプ CX シリーズと低パスライン USH-HC シリーズ

オイルシヨックを機に 電氣を用いた 加熱装置の開発に着手

1949年に創業し、鍛造・加熱分野に特化して、あらゆる加熱装置および周辺機器の開発・製造販売に取り組んでいるウチノ。1965年に株式会社となつてからは、重油などの化石燃料を用いた鍛造用焼却炉の開発製造を行い、シェアを順調に伸ばしていた。

そんな同社に改革を迫ったのが、1970年代、日本中をバツクに陥れた第一次・第二次オイルシヨック。油の値が高騰し、従来の重油を大量に使う燃焼炉ではコストがかかりすぎるという事態が起きたのだ。ちょうど同じ時期、ヨーロッパで開催された国際鍛造会議に出席していたウチノの先代社長は、燃焼炉から電氣炉が主流となりつつある海外の動向を会議の場で敏感にキャッチした。国内でも自動車業界などが電氣炉での鍛造を取り入れ始めていただけに、同社は一念発起して電氣(IH)を用いた誘導加熱装置の開発に着手することになる。

燃焼炉製造で培った技術力に加え、優秀なブレインとの幸運な出会いもあり、ト



5連先端加熱装置

ランジスタ式鍛造用誘導加熱装置「スーパーヒーター」の第1号機は1982年に完成した。価格が高く、それまでは部の大手企業にしか導入されていなかった誘導加熱装置。ムダを徹底的に排除することでコストを抑えた同社の誘導加熱装置は、中小企業の顧客からの圧倒的な支持を得てシェアをみるみる拡大。現在では型打ち熱間鍛造を行っている7割の鍛造会社、同社の製品を導入している。

閃きを実現し、実行させる アグレッシブな開発姿勢で 鍛造業界の未来を切り拓く

グローバルレベルで進歩し続ける日本の半導体業界と足並みを揃えるように、真空管・MG・サイリスタ・バイポーラトランジスタ・IGBT・HV-IPM等さまざまな半導体技術を取り入れた誘導加熱装置を開発する同社。加熱コイルによって周波数を変更させることで、径の太い材料から細かい材料まで効率よく加熱できる機種など、誘導過熱の概念を一変させるニューコンセプトマシンは、長い歴史で培った斬新な発想とアイデアから誕生する。「中小メーカーならではのフットワークの良さが当社のウリ。『閃きを実行し、実現させること』をモットーにこれからもアグレッシブな姿勢で開発に取り組んでいきます」と内野社長は語る。

日系企業のアジア進出にともない、同社の製品もそのシェアを世界レベルで拡大させている。アジアの大国へと成長した中国での展示会にも出品されるなど、さらなる飛躍の場を求めて世界に羽ばたく「ウチノ」ブランド。最高の技術をめざし続ける先進のパワエレクトロニクスに、終わりは無い。

Company Profile

株式会社ウチノ

住所 〒550-0026
大阪市西区安治川2-1-40
TEL 06-6657-0100
FAX 06-6658-0656
設立 昭和40年11月1日
資本金 4,800万円
従業員 40名
代表取締役 内野 恵司

ISO 14001 大阪22
ISO 9001

■主な事業内容

鍛造用高効率誘導加熱装置・自動鍛造加熱炉・自動ボルト加熱炉・誘導溶解保持装置・各種自動化装置の開発・設計・製作

■主な取引先

全国の鍛造会社およびアジア諸国の鍛造会社

<http://www.uchino-tec.co.jp>

他社には
負けない

当社のものづくり
セールスポイント

地球環境保全にも注力し
新しい技術を積極的に開発します

代表取締役 内野 恵司 さん



「常に新しい技術を開発、導入していく」。創業以来一貫しているこの姿勢を今後も変えることなく、顧客の声を反映させ、環境にも配慮した本当の「ものづくり」に取り組んでいきます。当社の製品に携わる全ての人が、仕事にプライドを持てる体制づくりも私の大切な役割だと考えています。